<table>
<tr><td>時間割コード</td><td>G1D11722</td><td>開講年度</td><td>2026</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>授業題目</td><td colspan="6">クリティカル・リーディングⅠ(上級)</td><td>担当教員</td><td>スプリング　有木子</td></tr>
<tr><td>英文授業名</td><td colspan="6">Critical ReadingⅠ</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>単位数</td><td>1</td><td>講義期間</td><td>前期</td><td>曜日・時限</td><td colspan="2">月曜･1時限</td><td>対象学生</td><td>ＡＩ《1》</td></tr>
<tr><td>講義室</td><td colspan="3">共通教育４６講義室</td><td>授業形態</td><td>実習</td><td>遠隔授業科目</td><td>備考</td><td></td></tr>
<tr><td>信大コンピテンシー</td><td colspan="8">非該当</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="3">(1)授業の達成目標</td><td>授業で得られる「学位授与の方針」要素</td><td>⇔</td><td>【授業の達成目標】</td></tr>
<tr><td colspan="3">大学ＤＰ</td></tr>
<tr><td>学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力</td><td>⇔</td><td>大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる</td></tr>
<tr><td>(2)授業で学べる「テーマ」</td><td colspan="3">多文化協働</td></tr>
<tr><td>(3)全学横断特別教育プログラム</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>(4)授業の概要</td><td colspan="3">Critical ReadingⅠでは、専門課程での学術探究に寄与するAcademic Skills (Critical Reading & Critical Thinking) の向上を目指し、多様な内容・スタイルのアカデミックな英語をクリティカルに読み、自分の意見や考えを批評的に述べる力を育成する。
様々なジャンルの英文（雑誌・新聞、文学作品、映像作品のスクリプト、討論、講義、講演等）の内容や意図を正確に把握し、分析・解釈・評価等を行うことにより、アカデミックな英文をクリティカルに読み解く姿勢を身につけていく。その際、クリティカルな読解力・思考力の育成に配慮した教材を用いて、分析、解釈、評価などのスキルが身につくよう工夫する。

（Critical Readingとは、単に文章を訳し理解する受動的な読解のことではなく、より積極的に文章の内容や意図を吟味し、分析・解釈・評価する読解のことを意味する。）</td></tr>
<tr><td>(5)授業のキーワード</td><td colspan="3">Critical Reading　　Critical Thinking</td></tr>
<tr><td>(6)授業計画</td><td colspan="3">Week 1　Guidance、グループ決め、教科書Unit 1
Week 2　Unit 2　Marriage Around the World
Week 3　Unit 3　A Thirsty World
Week 4　Unit 4. Fished Out
Week 5　Group work
Week 6　Group work
Week 7　Group presentation
Week 8　中間試験、解説
Week 9　Unit 5. Nuclear Power
Week 10　Unit 6. Renewable Energy
Week 11　Unit 9. Online Retailing
Week 12　Unit 10. The Office of the Future
Week 13　Group work
Week 14　Group work
Week 15　Group presentation、授業アンケート
Week 16　期末試験

＊各ユニットではreading comprehensionを行ったのち、グループでトピックについてディスカッション、paragraph writingなどを行います。

＊授業計画は授業の進展状況で変わる可能性があります。eALPSの毎回の授業スケジュールで確認してください。</td></tr>
<tr><td>(7)成績評価の方法</td><td colspan="3">・授業の習熟度を図る課題（中間試験、グループワークを含む） (50%)
・期末試験（後半のグループワークを含む） (50%)
授業への参加態度（出席の状況や授業への積極的な取り組みなど）は減点対象となります。

この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数に満たない場合は成績評価の対象外とし、評点は0点となります。</td></tr>
<tr><td>(8)成績評価の基準</td><td colspan="3">授業で解説した内容と同レベルの問題が
60%以上解ければ「合格水準にある(可)」
70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」
80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」
90%以上解ければ「卓越している(秀)」
とみなす。</td></tr>
<tr><td>(9)事前事後学習の内容</td><td colspan="3">・この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。
教科書の予習復習、授業で課された課題を行う。</td></tr>
<tr><td>(10)履修上の注意</td><td colspan="3">授業には毎回パソコンを持参してください

初回授業には教科書を持ってくること</td></tr>
</table>

(10)履修上の注意	単位取得のためには、（１）毎回授業に遅れずに出席すること、（２）課題を確実に行うこと、（３）授業中にグループワークに積極的に取り組むことが必要です。
(11)質問,相談への対応	授業前後に質問してください
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外(評点は0点)となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください(『共通教育履修案内』参照)。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」(『共通教育履修案内』参照)により出席できず,補充を希望する場合は,所定の方法(『共通教育履修案内』参照)により,共通教育窓口で申請してください。(この場合は、出席扱いにはなりません。)
【教科書】	In Focus 1 Academic, Charles Browne, Kinseido, Y2,700, ISBN: 978-4-7647-4195-9
【参考書】	特になし